

ウチヤマタイムズ

発行日:平成27年6月20日/編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里/監修:内山文治・吉岡信之
発行所:(株)ウチヤマホールディングス/〒802-0044北九州市小倉北区熊本2丁目10-10/電話:093-551-0002

2015

7

No.161

UCHIYAMA
HOLDINGS
ウチヤマホールディングス
グループ
東証一部上場
(証券コード:6059)

誰もがいつまでも 「食べられる」「話せる」 「笑える」社会を創る

九州歯科大学との連携より

ウチヤマグループでは、九州歯科大学、北九州産業学術推進機構と昨年十月に産学官の連結協力協定を締結し、高齢者の口腔ケアを中心とする健康維持の取り組みについて共同研究を進めています。今年の四月からはウチヤマホールディングスによる寄附講座が九州歯科大学に設置され、秋原教授を中心に研究者の育成が行われています。北九州市内・近郊にあるさわか俱樂部の介護施設では、九州歯科大学の松田助教が職員向けに口腔ケア・トレーニングなどの指導を行っています。



あきふさ すみ お
教授 秋房 住郎 先生
経歴

平成5年 九州歯科大学卒業(歯科医師)
平成9年 九州歯科大学大学院修了(博士(歯学))



まつだ ゆう へい
助教 松田 悠平 先生
経歴

平成24年 東京医科歯科大学卒業(歯科衛生士)
平成26年 東京医科歯科大学大学院修了(修士(口腔保健学))

九州歯科大学は、貴社からの奨学金を原資として、寄附講座「高齢者支援学講座」を設置いたしました。本寄附講座では、誰もがいつまでも「食べられる・話せる・笑える」社会づくりに貢献できるよう、高齢者の摂食・嚥下機能支援のモデルを創り、社会実装を目指して活動を展開してまいります。今後の活動として、高齢者の摂食・嚥下機能に関する研究・製品開発・学生及び施設スタッフへの教育などを予定しています。

高齢者支援学講座では「研究」と「教育」という二つの大きな枠組みをもとに活動します。研究では「食事形態のアップ」「飲み込み」「口腔ケア」などをテーマにして、現場(利用者様はもちろん、施設で働くスタッフの皆様も含め)のニーズに応えられる口腔機能向上プログラムや口腔ケア製品を共同して研究開発したいと思っております。また、教育ではスタッフの方を対象に、出張講義や九州歯科大学内の施設を利用した実習形式の授業を年に数回実施するなど、皆様が何度か気軽に学習でき、口腔ケアがより身近なものと感じていただけるようなイベントを計画しています。

皆様に喜んでいただけるよう努力して参りますので、ご声援よろしくお願い致します！



内山文治社長



九州歯科大学・西原達次学長



九州歯科大学寄附講座 設置記念セミナー

平成二十七年四月から寄附講座「高齢者支援学講座」が立ち上がりました。この講座の設置を記念した「九州歯科大学寄附講座設置記念セミナー」が五月二十五日に九州歯科大学にて開催されました。セミナーの中で九州歯科大学の西原学長から開会のご挨拶をいただきました。内山社長からは「日本は人類が経験したことのない超高齢化社会という未知の領域に突入しつつあります。このような高齢化社会を支えるためにも、より良いサービスの提供が必要不可欠です。高齢者の方々が「食」を生きがいのひとつに出来る様に、九州歯科大学と連携し、質の高い支援を行っている」と挨拶がありました。

また、四月から一年間、九州歯科大学の特任准教授に任命された「レクサイド中の原」の小林ケアマネジャーから、「産学官連携が創る理想の介護」というテーマで、九州大学の平井康之准教授と取り組んでいる入居者様のライフプラン作成の活動についての紹介がされました。(草原 仁美)

九州歯科大学との取り組みについて

九年前、歯科業から介護の世界に移った私には、歯科で培った知識が介護の世界で活かせるという思いがありました。入社した当初は、口腔ケアに力を入れていましたが、ケアマネ業が主になり、いつしか口腔のことまで目を向けられなくなっていました。そんな中で九州歯科大学との共同研究の話を頂き、最初は参加を決めかねていましたが、同僚の立石ケアマネが背中を押して下さり、当初の思いをまた持たせて頂く事ができました。

九州歯科大学で「高齢者支援学講座」が立ち上がり、少しずつ歯科への領域を広げていくうちに、歯科から見た介護現場、介護現場から見た歯科というものが、ケアマネであり、歯科衛生士の経験を持つ私だからこそ分かることがあると気がきました。その気づきを高齢者支援学講座で活かす役割を担って、やりがいを持って取り組んでいます。

ハイレベルな教授陣の中でのミーティングは本当に日々新しい勉強です。口腔ケアによる誤嚥性肺炎の予防はどこでも行われていることですが、今回の研究を通じてさらに進化させていくことで、高齢者の方の生活、そして私達自身の未来の為に「誰もが食べられる」「話せる」「笑える」社会を創ることに全力を尽くしていきます。(さわやかレクサイド中の原・小林 さおり)





《さわやか海響館・中矢秀施設長の日報より》

本日は三浦先生の勉強会にて、施設現場における問題点及びその改善点について話し合いました。先輩方、約10名の問題点の見方、捉え方、またその解決策には私には思いつかない発想も多く、これまで様々な問題と向き合ってきた英知だと感じました。学ぶことが本当に多く、1分1秒たりとも目や耳を離すことのできない一日でした。夕食時にはさわやか倶楽部の歴史や先輩方の苦勞、そしてウチヤマグループをどのように発展させていくのか一人ひとりの話を聞きました。私もさわやか倶楽部、そしてウチヤマグループの5年後、10年後を一層深く考えて勉強に励みます。



もし、突然社長に指名されたら…?

さわやか倶楽部 幹部研修

5月27日から28日の2日間、別府市のホテル「さわやかハートピア明礬」にて、さわやか倶楽部の幹部研修が行われました。船井総合研究所の三浦康志先生を講師に迎え、石本副部長、八尋副部長、エリアマネジャーに加え、各エリアから推薦された施設長なども参加しました。今回の研修は、経営者としての視点を持つことをテーマに、様々な課題が出されました。2日目の研修には、内山社長もオブザーバーとして参加しました。「あなたは明日から社長に就任します」という仮定のもとに、社員や外部に向けたスピーチを作成して発表するというユニークな課題もあり、それぞれの個性を活かしたスピーチが聞かれました。



サントリー ビール工場見学



ボナーのカラオケ飲食部門では、サントリー様の協力で毎年実施している恒例のビール工場研修を今年も実施しました。6月11日にサントリー九州熊本工場にて、新入社員を中心に41名の社員が参加しました。ビールの最高峰を目指して作られた「ザ・プレミアム・モルツ」の品質にかける製造者の想いや製造の過程を学び、実際に工場でビールが作られていく様子を見学した後、正しいビールの注ぎ方を実技を通して学びました。その後、近くのレストランに移動して、美味しい「ザ・プレミアム・モルツ」を飲みながら食事会を行いました。サントリーの九州熊本工場では、一般の方による工場見学も受け付けています。

《工場見学の問合せはこちら》

サントリー九州熊本工場 TEL.096-237-3860

〒861-3104熊本県上益城郡嘉島町大字北甘木字八幡水478

さわやか倶楽部

口腔ケア勉強会



6月6日、本社にて北九州市にある「徳永歯科医院」の徳永憲一先生とスタッフの方々を本社にお招きして、さわやか倶楽部の管理者向けに勉強会を開催して頂きました。本社からは内山社長、竹村専務をはじめとする幹部の他、近隣施設の施設長や歯科衛生士の資格を持つ「さわやかレークサイド中ノ原」の小林ケアマネジャーなどが参加しました。徳永先生からは生活における「歯」の重要性について歯科医・歯学博士の立場として貴重な講義を受けました。講義の後には質疑応答の時間も設けられ、歯科衛生士や歯科助手の方々からも介護施設への訪問歯科診療で日頃感じていることなどを教えて頂ける良い機会となりました。



徳永先生と内山社長



キラリ★一等星

キラリと輝くスタッフをご紹介します！



STAR
No.89

Twinkle!

せした しょうこ
瀬下 昌吾さん 30歳

グループホームひかり／ホーム長
(福岡県北九州市)

さわやか倶楽部で努力すれば必ず結果がついてくる、そんな話を様々な所で耳にし、介護職として入社しました。その後三年ほど働いてから一度退職しましたが、再度、お誘いの言葉をかけて頂いたのが「さわやか螢風館」の柿木施設長でした。以前働いていた時に比べて、私自身も考え方や知識などが変わり、改めてさわやか倶楽部の魅力を感じてもう一度働いてみたいと思い、再雇用して頂きました。さわやか倶楽部の魅力の中でもたくさんの研修制度は自身を向上させてくれました。自分の力を発揮できるチャンスを得ながら人生の勉強にもなる、そんな会社だと思いました。

介護職員として働いていた頃は、入居者様の喜ばれる顔を見ると毎日やりがいを感じていました。当初はコミュニケーションを図ってもなかなか心を開いてもらえない入居者様がおられました。しかし何度も会話を重ねるたび、少しずつ笑顔が見られるようになってきました。と同時に会話も増え、進んで声をかけてくださることも多くなってきました。そんな入居者様の笑顔は私にとっても一番の励みになりました。時間をかけてコミュニケーションを図ることで信頼関係を築くことの喜びを知りました。

現在は管理者としての責務がありますが、無知からスタートして手探りながらも周りの方々の支援等もあり、少しずつ業務を覚えていきます。

これからたくさんの経験を積み、自らが手本となって職員の指導、育成を行い、グループホームの質を上げると共に、入居者様の日々の生活環境をより良いものにしていきたいと思っています。時間の合間をぬって、できるだけ多種多様な本を読むようにしています。たくさんの方の言葉や人生観などを知り、少しずつ自分の身につけることができるようになりました。普段は子供たちにもふれあう時間が少ない分、休日は、子供たちとの時間を多く作って関わりを大切にしています。やはり家族の支えがあるからこそ仕事にも精をだせると思っています。

今後は職員ひとりひとりの研修強化とスキルアップを通じて、向上心をもっと引き出せるよう指導を行います。私自身も講習や研修に積極的に参加して自らの知識を磨き、管理者として恥じないよう向上していきます。営業活動も率先して行い、地域の方々との交流を広げて、たくさんの方々にはひかりの良さを知って頂きたいと思っています。そして介護だけでなく経営面に対しても、もっと知識を高めたいと思っています。これから幅広い分野で様々なことをたくさん勉強し、いずれ自身で講義をできるようなりたいと思います。まだ管理者として日も浅く足りない部分が多々ありますが、多くの方々のご支援と共に良いグループホームひかりを目指して頑張っていきます。今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



努力の上に辛抱という棒を立てろ

タレント 桂 小金治 かつら ことしんじ

この頃(十歳頃)、僕にとって忘れられない出来事があります。

ある日、友達の家に行ったらハーモニカがあつて、吹いてみたらすごく上手に演奏できたんです。

無理だと知りつつも、家に帰ってハーモニカを買ってくれと親父にせがんでみた。

すると親父は、「いい音ならこれで出せ」と神棚の神(さかき)の葉を一枚取って、それで「ふるさと」を吹いたんです。あまりの音色のよさに僕は思わず聞き惚れてしまった。もちろん、親父は吹き方など教えてはくれません。

「俺にできておまえにできないわけがない」

そう言われて学校の行き帰り、葉っぱをむしっては一人で草笛を練習しました。だけど、どんなに頑張ってみても一向に音は出ない。諦めて数日でやめてしまいました。

これを知った親父がある日、

「おまえ悔しくないのか。俺は吹けるがおまえは吹けない。おまえは俺に負けたんだぞ」

と僕を一喝しました。続けて、

「一念発起は誰でもする。実行、努力までならみんなする。そこでやめたらドングリの背比べで終わらんのだ。一歩抜きん出るには努力の上に辛抱という棒を立てるんだよ。この棒に花が咲くんだ」

と。その言葉に触発されて僕は来る日も来る日も練習を続けました。そうやって何とかメロディーが奏でられるようになって

たんです。

草笛が吹けるようになった日、さっそく親父の前で披露しました。

得意満面の僕を見て親父は言いました。

「偉そうな顔するなよ。何か一つのことができるようになった時、自分一人の手柄と思つな。世間の皆様のお力添えと感謝しなさい。誰きり(だ)ってそつじやないか。片手で鉏は採めぬ」

努力することに加えて、人様への感謝の気持ちが生きていく上でどれだけ大切かということ。この時、親父に気づかせてもらったんです。

翌朝、目を覚ましたら枕元に新聞紙に包んだ細長いものがある。開けて見たらハーモニカでした。喜び勇んで親父のところに駆けつける。

「努力の上の辛抱を立てたんだろ。花が咲くのは当たり前だよ」

子ども心にこんなに嬉しい言葉はありません。あまりに嬉しいものだから、お袋にも話したんです。するとお袋は、

「ハーモニカは三日も前に買ってあったんだよ。お父ちゃんが言っていた。あの子はきつと草笛が吹けるようになるからってね」

僕の中から大粒の涙が流れ落ちました。いまでもこの時の心の震えるような感動は、色あせぬことなく心に鮮明に焼きついています。

(致知出版社「一流たちの金言」より)

BEST 日報賞



かさ

笠 成美さん

コロッケ倶楽部 久留米津福店
福岡県久留米市

空いた時間を使って、フロント・ドリンクバーの周りを清掃しました。

いつも来て頂けるお客様が「ちょっと部屋に来てくれませんか?」とおっしゃられたので行ってみると、テレビの画面に“お仕事ファイト!!”と書かれたお客様特製の画像が映し出されていました。「いつもこの時間にお仕事お疲れ様です。サプライズです!(笑)」と言ってくださいました。思いがけないサプライズにとっても感動し、これからもこのように来て頂けるお客様が増えるように全力で接客をしていきたいと思いました。



さとし

原野 聖士
エリアマネージャー

さわやか倶楽部
北関東エリア

「“笑う門には福来る”という言葉がありますが、今日は、それを実感しています」と、いわつき館の職員会議にて、最初に伝えました。

いわつき館、現在満床です。ここまでの道のりは長かったですが、約一年で満床になり、高い稼働率を維持しています。会議の内容も回数を増やすごとに濃く、細かくなっています。“満床”は決してゴールではありません。ここからやるべき事を明確にし、全員で共有して、より良いいわつき館を一緒に築いていきます。

おおみや館のスタッフの営業努力も、問い合わせという形で結果に繋がっています。引き続き、各施設の管理者、スタッフ皆と“全員で勝ちとる”よう結果につながる努力を行っていきます。



両親へ、感謝の気持ちを込めて…

産んでくれて、育ててくれて、ありがとう。



ゆうな

赤澤 悠菜さん

さわやか鳴水館
福岡県北九州市

今から20年前、北九州市小倉北区で生を受けました。とても元気な赤ちゃんで、家族も男の子の様にとても元気だねと話していたそうです。私は6人兄妹の次女です。兄妹みんなとても活発で、毎日毎日兄妹げんかで母から叱られていたことを今でも覚えています。そんな中、一番下の弟もようやく1歳になりました。

私は、幼いころ小児ぜんそくで学校を休むことが多くありました。仕事が忙しい中でも看病してくれたお母さんの暖かい手と、温かく美味しい料理のお陰で、病気にも負けず、すくすくと成長することが出来ました。

小学生の頃、クラスメイトからいじめられたこともありましたが、自宅に帰ると底抜けに明るい両親と兄妹がいます。「小さなことでよくよしない」いつも母が私達に教えてくれた言葉です。そんな母から私達兄妹は、常に笑顔で、辛い時こそ笑顔を出すこと、へこたれない心を学びました。とても感謝しています。

本年4月にさわやか倶楽部へ新入社員として入社させて頂き、間もなく2ヶ月が経とうとしています。先輩や入居者様からたくさんのことを学ばせてもらっています。また、お父さん、お母さんから学んだ笑顔と元気という、前向きな考え方は、社会に出てとても大切なことなんだと実感しています。

今まで、親孝行らしいことは出来ていませんが、今日で無事二十歳を迎えることが出来たのは、家族のお陰です。これからは一生懸命仕事をして、一人前の社会人として社会に貢献することで、両親への恩返しになればと考えています。

最後にお父さん、お母さん。産んでくれて、育ててくれて、ありがとう。





5月の症例発表会〈さわやかシーサイド鳥羽〉



今年の1月27日に続いてもう一度症例発表を行うため、船井総合研究所の橋本先生の指導のもと、歩く為の移乗介助の取組みを開始しました。

まず初めに、生活相談員、ケアマネジャー、

主任、リーダーを集めて、現状の移乗介助の手順を確認し、課題の抽出を行いました。その後、介護職員による移乗の対応を動画で撮影し、職員の一人ずつの対応を確認しながら、職員会議や研修会を通してマニュアルに沿った移乗介護の取り組みを行いました。職員からの発案や言動等にも変化があり、確実にスキルが上がったのではないかと感じました。1ヵ月間、全職員で取り組む中で、入居者の日常生活動作のレベルも上がり、車椅子で全介助だった方が、職員が支えて立位が保てるようになりました。さらに症例発表会の1週間前には、ご自分で介助なしでベッドから車椅子に移ることができるようになりました。

5月27日に行った症例発表会では、地域の病院や居宅支援事業所、関連事業所の方々に参加して頂き、「ぜひ、私達の施設に職員さんを派遣して研修をしてもらえませんか?」「私達の施設でも是非、参考にしたい」とのご意見を頂きました。

この症例発表を通じて、全職員で成功体験を実感することにより、職員の技術向上はもちろん、入居者のADLの向上により笑顔があふれていることが管理者として一番、嬉しく思います。これからも常に感謝を忘れず、入居者様、ご家族様に喜んで頂ける場所であり続けられるよう、日々、職員一同、スキルを高めていきます。(施設長・深水 翔太)



ハートピア明礬&別府の里

本格的に夏が到来し、さわやか倶楽部のホテル「別府の里」「ハートピア明礬」では「夏プラン」が好評頂いております。見た目も涼しげなお料理が沢山あります。どの料理も今回の夏プランでしか味わえない物ばかりですので、是非この機会に堪能くださいませ。

また、7月は12日に「由布川峡谷まつり」(別府の里・ハートピア明礬から車で1時間圏内)、下旬には別府夏の宵まつり(別府の里から車で20分・ハートピア明礬から30分)があり、大花火大会も開催されます。

別府へのアクセスは東九州自動車道が椎田南～豊前間を残してほぼ全開通しましたので、北九州市から約1時間30分、宮崎市から約2時間30分と近くなりました。夏休みには、是非ご家族様、大切な方とゆっくり別府温泉を楽しんで頂き、美味しい料理を召し上がってリフレッシュして下さい。

従業員一同、皆様の御来館をお待ち致しております。(別府の里・藤本静香)

夏プランでおもてなし



さわやかハートピア明礬



さわやか別府の里

明礬温泉
さわやかハートピア明礬

大分県別府市大字鶴見1190番地の1

Tel.0977-66-1321

プランの詳細はウェブでもご確認いただけます!

別府堀田温泉
さわやか別府の里

大分県別府市堀田4-2(堀田温泉)

Tel.0977-26-1117

www.sawayaka-hotel.jp



ディナーショー 7月 inアサノパティオ



ストレートで伸びやかな歌唱とユニークな声質で、独特の個性を放つ福岡在住ボーカリスト。

JAZZボーカリスト 和田 いづみ

2004年、NYに渡りギタリスト森山修氏に出会う。共作のオリジナル曲やジャズスタンダードを録音し、インディーズ音楽の紹介サイトNEXT MUSIC Japanではニューカマー・ウィークリー・ダウンロード1位となり、約1ヶ月に渡りダウンロード・ランキング10位以内をキープ。また、有線放送のCafe Apres-midiチャンネルで金曜日の選曲に加えられ全国に放送される。

2006年、ドキュメンタリー映画「ガイアシンフォニー」の上映イベントをプロデュース。初の単独企画にもかかわらず170人を動員、寄付金が集まりSave the Childrenへ募金。2008年、第5回24時間映画祭(24時間で映画を制作する世界最短のショートフィルムイベント)では、自らが原案したストーリーのアルコール中毒者役で、主演女優賞を受賞。

2009年3月リリースとなる初アルバム「Just The Two Of Us」は、ヨーロッパのみならず世界中で活躍中のミュージシャン森泰人、Simon Westman、Johan Borgstrom、Sebastian Kapteinらとの、スウェーデン録音。ジャズスタンダードやボサノヴァに加え、スティービー・ワンダーや、エルトン・ジョンの名曲を、ホールのステージで輪になって録音、臨場感溢れる作品となっており、ストレートで伸びやかな歌唱と、ユニークな声質は、ジャズボーカルの枠を超えて、独特の個性を放っている。



2015.7.16(木)

デザート・フルーツも食べ放題!!

1st stage.

開場 17:45(dinner)

演奏 18:30~19:30

2nd stage.

開場 19:50(dinner)

演奏 20:30~21:30

バイキング形式 6,000円

お一人様
[ディナー・ドリンク・ショー・税金・サービス料金込]
・3drink(ビール・ワイン・ソフトドリンク)付き

Beer Rest & Karaoke ASANO 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目3-28

Patio Tel.093-533-1888 Fax.093-533-7307

※無料駐車場(アサノパティオ立体駐車場)をご利用下さい。

予定曲目
サニー・ムーンリバー/雨に唄えば
クローストウ ユー/A列車で行こう
この素晴らしい世界/サマータイム
イバネマの娘/雨に唄えば 他

地域の運動会

地域の運動会に参加させていただきました。運動にはもってこいの涼しさ。さあ、がんばるぞ～！

地域の方からお菓子を分けて頂きました。ありがとうございます。入居者さまは「幸運の椅子」という競技に参加しました。歩いて椅子に座ると景品がもらえます。少し肌寒かったですが、皆様競技を楽しんで参加されていらっしゃいました。(岩出 靖人)



生きがい作り ☆ケアマネ研修☆

生きがい作りの研修の為、各施設のケアマネさんに訪問頂きました。

4Fフロアでは盆栽コーナーを見学。93歳の師匠や14名のお弟子さんの作品を楽しんで頂きました。秋田県の池端ケアマネは、いち早くスナックのママである植高様を発見。植高様は全国でも有名人になりましたね。

※さわやか倶楽部のブログ、生きがいづくり〈スナックレク〉
(<http://blog.livedoor.jp/sawayakacub/archives/51961696.html>)をご覧ください。



音楽の素晴らしさを広める、レークサイドのギネスに挑戦中の矢川様のハーモニカ演奏にも出会えました。写真嫌いな矢川様が、珍しく写真にも応じて下さいました。美人の西野ケアマネの力はすごい。

自分の人生を自分で決める「ライフマップ」では、矢野様のこんな素敵な笑顔に遭遇。矢野様の目標年齢は100歳。あと16年、ご自分が思う人生をこれから楽しんでいきましょうね。(小林 さおり)

各施設からのお便りを集めました！



さわやか だより



保育園訪問

地域交流の活動で近所の平山保育園へ訪問。保育園への子供たちへのプレゼントに風船のおりがみと押し花を作り、ありがとう～のメッセージを添えて持っていきました。



たこや魚を作り、魚釣りをしました。ハーモニカのおじいちゃん子供たちがいつも喜んでくれます。肩たたきサービスのふれあいも幸せですね。

次は7月7日の七夕訪問です。子供たちの笑顔に会えるのが楽しみです。(國吉 淳子)



高塔山へ 行きました!



夜宮公園の菖蒲と高塔山の紫陽花を見学に行きました。お天気は曇りでしたが、展望台まで行きました。紫陽花はとっても綺麗でした。高いところは気持ちがいいですね。つい、笑顔が出ます。皆様で頑張って登りました。よい運動にもなり、景色も懐かしかったですね。若戸大橋を背景に記念撮影です。皆様元気いっぱい、また行きましょう。(金井 有三)



ライフプラン♪ お一人お一人に生きがいを!

伊藤様のライフプラン作成でご要望の出た『ミニトマトを育てたい』との願いを早速実現。

池端ケアマネジャーと若狭ケアマネジャーと伊藤様の三人でお隣のホームセンターへ。プランターや土、そして…ミニトマトの苗をゲット。「まめで育てな」元気に育てて欲しいとやる気満々。



また館内で若狭ケアマネジャーによる新人職員への勉強会も行われております。総てはご入居者様方の笑顔と元気の為。桜式番館ではお一人お一人の生きがいを実現を合言葉に全職員で今後も取り組んでいきます。(柳本 雅樹)



夜宮公園 菖蒲まつり



『夜宮公園・菖蒲まつり』にご利用様と一緒に出かけました。この日はとてもいいお天気であり、絶好のお祭り日和でした。たくさんの方が来られておりご利用者様と一緒に池の周りを一周しました。

ピンクや紫、そして一か所だけ黄色の菖蒲を見つけ、『珍しいね〜』と言われていました。写真を撮られている方や、着物を着て回られている方もいて皆様、『着物は懐かしいね』と思い出話にも花が咲きました。

そして池の途中には今が旬のあじさいも咲いていて皆様と一緒に記念撮影です。とても天気がよく日陰で休憩しながらゆっくりとみる事が出来ました。気分転換にもなり楽しんでいただけたかと思います。

中央広場ではステージ発表会や屋台も出ていて職員も興味津々にぎやかな菖蒲まつりでした。(福岡 愛)



Hand bell ♪



とっても久しぶりのハンドベルレクを行ないました。皆様忘れてしまっているかなあと思いつつ進めていきましたが…やはり最初は感覚がつかめないのか、苦笑いされてしまう場面もありました。

しかし、スタッフの熱血指導の賜物か?皆様徐々に慣れ、笑顔で演奏されておられました。これからも練習を重ね、何かのイベント時に発表出来たらなあ…と密かに思っているスタッフです…。

皆様にもお披露目できるよう特訓×特訓。(村上 太)





Message from President

ウチヤマグループ代表 内山 文治

経営者発想を持つとう

平成二十七年五月二十七日から二十八日にかけて、当社が長年お世話になっている船井総合研究所の三浦康志先生による幹部研修が、大分県別府市のホテル「さわやかハートピア明磐」で開催されました。一泊二日の合宿形式の研修で、さわやか倶楽部のエリアマネジャーを中心に、副部長や本社社員等、将来が期待されるメンバーが参加しました。

私も二日目の朝からオブザーバーとして研修に合流しました。当日の朝、本社で朝礼の指示を出してから出発したので、私が到着した時には研修が既に始まっていた。そして、研修室の中に入ると、三浦先生から一言挨拶をするように促されて、研修生の前に立ちました。参加者は、普段から会って会話している社員ばかりなのですが、研修生の顔を見て、私は思わず「初めましてー」と言いました。なぜなら、皆の顔の輝きが昨日までと全く違っており、まるで初めて会うような錯覚にとらわれたからです。今回、私が三浦先生に依頼した研修のテーマは、経営者としての考え方を身につけることでした。私が着いたとき、研修生たちは既にレポートを書いていましたが、その内容を見て驚きました。なんと、自分達が社長に就任した時のスピーチ原稿を作っているのです。研修二日目の最初のテーマは『明日から急にさわやか倶楽部の社長に就任することになり、他の社員が驚きや不安を感じている中で、社員を安心させ、奮い立たせる歴史的スピーチを発表する』というものでした。非常に難易度が高いテーマで、私は研修生がどんな発表をするのか期待と不安が入り混じった気持ちで待っていました。しばらくすると、立候補順でスピーチが始まり、誰よりも早く、澆刺とした顔で手を挙げたのは、関西エリアの徳田章光エリアマネジャーでした。下記に一部を抜粋



します。

「今回の社長交代は、さわやか倶楽部にとって大きな事件です。さらに加速していくか、減退していくかの分かれ道です。私の役目・責任は非常に大きなものだと痛切に感じています。だからこそ、私は皆を守り、導く事ができる存在となり、皆を明るく照らす太陽となります。皆が常に輝き続けることができるように照らし続けます。“一所懸命”という言葉にある様に、一つの所に命を懸けて共に歩んでいきましょう。そうするに値する場所になっています。」

徳田章光エリアマネジャーらしい、明るい声と笑顔も重なって、リーダーシップに溢れる素晴らしいスピーチでした。その後も競い合うように立候補の手が上がり、この難しいテーマに対して全員が堂々とスピーチしてくれました。私はそのスピーチを聞きながら、経営者としての発想を持つことの重要性を理解してくれている彼らの大きな成長を感じ、非常に嬉しく思いました。

研修初日には『さわやか倶楽部のサービスのダントツ化』というテーマで、グループディスカッションと発表を繰り返して行い、夕食時にも熱い議論を交わしていたそうです。その後の研修も、『介護施設で食中毒が発生した時の記者会見』や、『株主様や取引先に対してのウチヤマホールディングスの社長就任スピーチ』といったレベルの高いテーマばかりでしたが、研修生が一つひとつの課題に取り組みながら、自己成長していく様子が感じられました。

私は、普段から「自分が経営者だったらどうするかを考えなさい」と社員に伝えていますが、今回の研修は、正にそれを深く考えて仲間と共有する良い機会になったと思います。経営者的な発想になると、一つの情報から視野が広がって、可能性としてのリスクやチャンスが見えてきます。そして、「報・連・相・打・根」の重要性を肌感じて分かるようになります。ウチヤマグループは、創業以来ずっと私が社長を務めてきました



が、今や従業員数四千人以上のグループ企業となった当社は、社会に対して大きな責任を担っています。企業の最も大きな責任とは、「永続すること」「社会貢献をすること」「利益体制を維持すること」「社員とその家族、取引先の幸福の追求」だと考えています。ウチヤマグループは現在も留まることなく成長を続けていますが、今のままで良いと思っ
て努力を怠れば、築いてきたものはたちまち壊れてしまいます。逆にそれぞれの社員が経営者の発想を持つてチャレンジを続け
れば、今よりも加速度を増して成長してい
くことも可能でしょう。

最後に研修生が発表した社長就任スピーチのほとんどに「企業理念」という言葉が含まれていました。社長就任のスピーチを考えるにあたり、改めて企業理念なくして経営は語れないということが理解できたのだ
と思います。企業理念こそは、時代や環境が変わっても不変である永続的な経営方針です。改めて「慈愛の心」「尊厳を守る」「お客様第一主義」という言葉を胸に刻み、実践を続けてい
きましょう。今回の研修生に限らず、社員皆が仕事を楽しみながら成長し、次代の社長となる人財が次々と生まれることを期待しています。

大内義昭さんとの別れ

音楽プロデューサーの大内義昭さんが五月二十二日にお亡くなりになりました。当社の運営する「アサノパティオ」で毎月開催しているディナーショーのプロデュースを担当して頂き、親しくさせて頂いていた間柄だけに、過去のことを思い出してはたいへん寂しい思いがしています。

大内さんは、若い頃から作曲家として多くの曲を有名なアーティストに提供してきました。また、歌手として藤谷美和子さんと歌った「愛が生まれた日」は百万枚以上の売り上げを記録する大ヒットとなりました。曲が発売された平成六年にはNHKの紅白歌合戦にも出場し、カラオケではデュエットの定番として今でも多くの人に愛されています。

約二〇年前からは、地元の北九州市に拠点を移し、「九州アーティスト学院」という音楽スクールを運営しながら若手アーティストの育成に尽力されてこられました。その他にも、市内の小中学校の校歌や、サッカーJ2の「ギラヴァンツ北九州」の応援歌作曲するなど、地元に着目した活動で地域に貢献されると同時に、多くの方に親しまれてきました。

そんな大内さんと当社とは、不思議なご縁がありました。

ボナーが運営する居酒屋でアルバイトをしていた学生が、大内さんの運営するスクールの生徒だったということで、イベントの打ち上げなどで何度もボナーの店を利用してくれていました。その後、ある取引先の方から「ぜひ紹介したい人がいる」ということでボナーの森常務が引き合わされたのが大内さんでした。

居酒屋の責任者だった森常務はすでに大内さんと面識もありましたが、私にも一度会ってほしいという話になり、一緒に食事をするようになりました。初対面の印象としては、腰が低く言葉遣いも丁寧で、たいへん優しいオーラをまとっておられるという感じがしました。そして話をするうちに、過去の実績から裏打ちされた自信、そして何よりも音楽を通じて地元を活性化したいという情熱がひしひしと伝わってきて、アサノパティオでのディナーショーのプロデュースを大内さんをお願いすることに決めました。

大内さんが関わることになった最初のディナーショーでは、自らステージに出て「愛が生





まれた日」などのヒット曲を歌い、合間のトークではヒット曲が生まれるまでのエピソードを紹介するなど、来場された方々に少しでも喜んで頂くことをいつも考えて実践されていきました。

四年前の平成二十三年九月には、大内さんの友人として紹介された元チエッカーズの高奎禎彦さんを招いて、当社主催で特別講演会を開催しました。講演後にアサノパティオで行われた高奎さんを囲んでの懇親会では、大内さんも高奎さんと一緒にステージに立つて熱唱し、ファンサービスしてくださいました。

そういう経緯もあって、ウチヤマホールディングスの社歌を作ろうという話が社内に出た時は、迷わず大内さんに制作をお願いしました。この時も快く引き受けてくれました。そして、私の思いを言葉にした歌詞に、誰もが覚えやすく歌いやすいさわやかなメロディーをつけて下さいました。その社歌をCD化する際には、社員の声を吹き込むことを提案して頂き、録音のためにスタジオまで提供して頂きました。そして、慣れないレコーディングで戸惑う社員に対しては、緊張をほぐすために声をかけ、歌いやすいように優しく細やかなアドバイスをくれたそうです。

今年の二月十四日、大内さんは完成した社歌のCDと楽譜を持って、本社に訪問して下

さいました。すでにがんとの闘病中で少し痩せておられましたが、比較的元気そうな印象で、まさかこれほど早く別れが訪れるとは思っていませんでした。

大内さんと親しかったクルーズの大塚社長から聞くところによると、今年の四月十六日にはすでに病状がかなり悪化していたにもかかわらず、「ディナーショーがどうしても気になるから」と言って病院を抜けて現場に立ち寄り、器材の調整やアーティストへの指示を自ら行っていたそうです。そして、五月二十一日のディナーショーに出演した愛弟子の引田香織さんが、無事にステージを終えたという報告を聞いてから、眠るように息を引き取られたとのことでした。

最後の最後まで仕事熱心で使命感に燃えた大内さんからは、私も多くのことを学ばせて頂きました。大内さんが遺して下さった当社のイメージソングを、大内さんの最後の作品として、その思いと共に大切にしたいから歌い継いでいきたいと思います。

大内義昭さん、本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

今月のオススメ図書

1 松下幸之助パワーワード
～強いリーダーをつくる114の金言～〈小宮 一慶〉

2 自助論
〈サミュエル・スマイルズ〉

3 103歳になってわかったこと
～人生は一人でも面白い～〈信田 桃紅〉

4 「イスラム国」よ
〈鎌田 實〉

5 ワクワクすることが人生にお金をつれてくる！
～才能をお金に換える技術～〈本田 健〉



6 ディズニー流！みんなを幸せにする
「最高のスタッフ」の育て方〈糠谷 和弘〉

7 おかあさんの木
〈大川 悦生 作 箕田 源二郎 絵〉

8 ゆかいなかえる
〈ジュリエット・キープス ぶん・え〉

9 いっすんぼうし
〈いしい ももこ ぶん／あきの ふくえ〉

10 三びきのこぶた
〈瀬田 貞二 訳／山田 三郎 画〉



山本専務より

サンセバスチャン、パンプローナ、ログローニョ、ビルバオといった街を訪れたのですが、バルはスペイン人の生活にはなくてはならない飲食業態であり、文化や習慣に深く根差している様子がうかがえました。

日の入りが遅く夜10時近くまで明るいのですが、文字通り老若男女がお気に入りのバルに集い、夜遅くまで会話を弾ませていました。異文化で日本とは違う生活習慣に触れる機会を得たこと、また現地の方々とのコミュニケーションをはかることが出来たことはとても勉強になりました。スペインの良さを知ることができ、同時に日本の素晴らしさを再認識する貴重な機会となりました。



スペインでバルめぐり 海外飲食業態 視察セミナー!

6月2日から6月8日にかけて、船井総合研究所主催の「スペイン飲食業視察セミナー」が行われ、山本専務とボナーの堀川SVが参加しました。今回のツアーでは、美食の国と呼ばれるスペインの中でも「美食の都」と称されるサン・セバスチャンを中心に、バスク地方の4都市を訪問しました。船井総研の三浦先生、加藤先生の引率のもと、市街地に立ち並ぶバルを何件もはしごしながら現地の方々と交流もあり、五感をフルに使ってスペインの食文化や店舗の運営形態について学びました。



《スペイン豆知識》

バル

喫茶店と居酒屋(バー)が一緒になったような業態のお店。おしゃべりを楽しみながら軽食やお酒が味わえる。

タパス

バルで出てくる小皿料理(おつまみ)。

ピンチョス

小さく切ったパンに具をのせ、上から串(スペイン語でピンチョ)で刺してまとめたもの。



カラオケで社歌を歌おう♪

カラオケ機器メーカーのエクシング様、第一興商様のご協力により、ウチヤマホールディングスの社歌が、全国のカラオケBOX等に配信されることになりました。懇親会やイベントの打ち上げなどの際は、コロツケ倶楽部で社歌を皆で歌いましょう!

●エクシング(JOYSOUND)

6/28～ 曲番号:675753

●第一興商(LIVE DAM)

6/30～ 曲番号:7572-04



※介護施設のカラオケ機器は、エクシングのみ7/8～歌唱可能となります。

ハッピーライフセミナー!!

野村証券北九州支店では、4月から8月にかけて毎月1回、「野村のハッピーライフセミナー」というシニア世代を対象にした講座が開かれています。5月18日に行われた第2回目の講座では、『高齢者介護施設の種類の選び方』というテーマでウチヤマホールディングスから吉岡部長が講師に招かれました。高齢者施設の種類の別の特徴や選び方のポイントについて、約70名の参加者の方々は非常に興味深く話を聞かれ、さわやか倶楽部の介護事業に対する取り組みの姿勢なども知って頂ける良い機会となりました。

Happy



セミナーで話す吉岡部長



野村証券・高橋智彦北九州支店長





グループホームみどりのき

入居した時は不安で落ち着かなかったようでしたが、職員の方々が笑顔で対応して頂けるのにホッと安心しました。これからもどうぞよろしくをお願いします。
(福岡県北九州市・安部様より)

コロッケ倶楽部 朝日ヶ丘店

誕生日に届いていたサービスハガキが今年には届かなかったので残念に思っていました。フロントで北岡さんにその話をしたら携帯に届くようになっていたとわかり、親切丁寧に対応してくれました。すごく嬉しかったです。
(福岡県北九州市・岩永様より)

コロッケ倶楽部 宮崎柳丸店

興和店長さんの説明がハキハキしていてすごくわかりやすかったです。さめしまさんが料理、飲み物を運んできた時の接客、挨拶もすごく良かったです。また行きたいと思う対応でした。ありがとうございました。
(宮崎県宮崎市・須崎様より)

コロッケ倶楽部 北谷店

ずけらんさんはいつも明るく笑顔で接客も良いです。いつも笑顔で迎えて下さるスタッフの皆さん、清潔でお食事美味しく、料金も安く、私たちシニアにとって、カラオケだけでなく楽しいおしゃべりタイムができて、とても感謝申し上げます。ありがとうございます。
(沖縄県中頭郡・玉木様より)

コロッケ倶楽部 東池袋店

鈴木さんと和田さんが、いつも月曜日と木曜日に部屋をキープしてくれています。昨年の6月7日から利用して今日で80回目です。
4月には90点以上が出て無料券を頂きました。また今回みたいな企画をぜひやってください。歌を歌って何かをプレゼントされるのもよいですね。いつも2人のスタッフにはお世話になっています。これからも100回、200回と利用したいです。(埼玉県川口市・若林様より)



原野 遥士くん

●平成27年 5月12日生まれ(男の子)

遥かなる可能性を自ら切り開く、強く広い心を持つ子供に育ってほしいという夫婦の願いを込めて命名しました。職場の皆様からもたくさん祝福して頂き本当に感謝しています。たくさん愛情を注いで育てていきます。

はるとくんのパパ
さわやか倶楽部
エリアマネージャー・原野 聖士



藤野 陽菜ちゃん

●平成27年 5月27日生まれ(女の子)

仕事も子育ても両立して、将来は明るく皆に好かれる女の子に育てたいと思います。今後とも家族一同宜しくお願いします。

ひなちゃんのパパ
さわやか立花館
介護職員・藤野 哲也



第23回 ウチャマグループ 特別講演会 開催決定!!

【テーマ】21世紀の提言 新しい世代を育てる

【日時】平成27年10月3日(土) 13時30分～

【会場】リーガロイヤルホテル小倉 4F
ロイヤルホール

【参加費】3,000円

【問合せ】(株)ウチャマホールディングス

☎ 093-531-0966



講師

金 美齢氏

ウチャマタイムズ2015年6月号の2ページで紹介した「ぐっ！ジョブ」の放送について、スターフライヤーの機内放送の期間が変更になりました。

平成27年6月1日～6月30日→平成27年7月1日～7月31日

一人で悩まないで！
あなたのお悩み
話してみませんか？



さわやか

相談室

お気軽にどんなことでもご相談下さい。お電話、メールお待ちしております！

電話番号

090-9497-5764

メール

sawayakasoudan@softbank.ne.jp